



授乳を試みよう！家庭看護4級に挑戦！

生活科学科では、以下の表のように、保育技術検定（以下、保育検定）の合格を目標に日々の授業を頑張っています！そして、前回紹介したように、保育検定には「造形表現」・「言語表現」・「家庭看護」・「音楽リズム表現」の4種類があります。

その内、家庭看護では、だっこや授乳、検温といった乳児の世話から始まり、乳幼児の発達段階・心身の状態に応じた衣服の着脱やおむつ交換、けがの手当てなどの基本的技術を身につけることを目的としています。

そして、今回は、生活福祉コース・保育コースの2年生が保育検定の家庭看護4級合格に向けて取り組んでいる実習の様子をお伝えします。



学年	合格を目標とする検定名
生活福祉コース2年生全員・保育コース2年生希望者	家庭看護4、3級
生活福祉コース3年生全員・保育コース3年生希望者	家庭看護2、1級



家庭看護4級では、だっこ・授乳・検温など、乳児の発達段階に応じた日常の世話に関する基本的技術を身につけることを目標に、保育人形を乳児に見立てて、指定された乳児の世話をを行います。

今回は「授乳」で模擬試験を行いました。担当の先生と1対1で行うため、みんな緊張していますね。

授乳では、ほ乳瓶の取扱いやゲップのさせ方にも気をつけなければなりません。

身近に乳児がいなくなかなか接する機会はないので、日頃の実習や放課後の時間などでの練習が大事ですね^^ 目指せ全員合格！

